



釜石大槌バークレイズ林業スクール オープンセミナー

＜林業ガール＞女性を生かす職場づくりを考える

～時間分割の工夫と思いやりの心～

「釜石大槌バークレイズ林業スクール」の開校を記念し、スクールに支援いただいているバークレイズグループから、バークレイズ銀行東京支店業務統括部長の敷島清子さんを講師に迎え、セミナーを開催致します。

多様な社員が在籍する外資系金融機関において、子育て世代の女性も働きやすい職場づくりを進めてきた敷島さんが、ご自身の経験から考える育児と仕事の「時間分割」(タイムスライス)や男女それぞれの特性を生かした働き方、男性、女性双方から見た心配りの方法などについて実例を交えながらお話しします。

また長年、国内外の金融機関で危機管理部門を統括してきたバークレイズ証券ヴァイスプレジデントの佐柳恭威さんの講演「ピンチをチャンスに変える逆転の発想方法 ～『災害対策ヘリコプタープラン』はどのように生まれたのか～」も同時開催します。

日時 2月22日(日)13時～

場所 釜石大槌地域産業育成センター(釜石市平田3の75の1)

参加無料

参加ご希望の方は
2月16日(月)までに
別紙(3枚目)で
お申し込みください

＜お問い合わせ＞

釜石地方森林組合内
「釜石大槌バークレイズ林業スクール」事務局
担当 手塚さや香
電話 0193・28・4244／080・9639・6984
tezuka_sayaka@kamaentai.org

【講師略歴】

○敷島清子(しきしま・きよこ)＝バークレイズ銀行業務統括部長兼バークレイズ証券会社資金・担保管理部長

青山学院大卒業後、東京の外資系銀行にて為替業務、デリバティブ業務全般等に関わる。1998年に長女を出産し、欧州系銀行に転職。2000年に転勤でシドニーにて勤務となる。2002年に長男を出産し、新生銀行に転職。そこから新生証券に出向し、オペレーション部長を務める。2010年バークレイズ証券会社に入社。2年半債券デリバティブズ・ミドルオフィス部長を務め、バークレイズ銀行東京支店に異動、2013年同銀行業務部長に就任。

敷島さんからのメッセージ

男性と女性はものの見方、考え方、学び方、そして働くことのできる周期も異なります。仕事における男性と女性の特質や組織として、チームとして、より効率を高めるためにはどのような心配りが必要なのかを、参考事例を紹介しながら、みなさんと一緒に考えたいと思います。

○佐柳恭威(さやなぎ・やすたけ)＝バークレイズ証券事業継続管理部長

1985年富士銀行入行。融資、IT、企画などを歴任し、1996年からロンドン駐在。欧州にて日本興業銀行、第一勧業銀行との三行統合を進める中、2001年に911米国同時多発テロで多くの同僚を失い、危機管理部門への異動を願い出る。2002年、帰国を機に格付け会社スタンダード&プアーズに転職。アジアパシフィックの危機管理を担当。2011年、バークレイズ証券に転職。事業継続管理部長として日本、韓国、台湾のバークレイズグループの危機管理を統括。2012年度の内閣府「首都直下地震に係わる首都中枢機能確保検討会」特別委員。

佐柳さんからのメッセージ

災害時においても金融機関としての社会的責任を果たすために、外資系金融機関とヘリコプター運行会社が「逆転の発想」で作り上げた仕組みをご紹介します。ピンチをチャンスに変える発想法をみなさんと考えてみたいと思います。



< 申し込み用紙 >

送付先 釜石地方森林組合

Fax 0193・28・2901

メール rinningyouschool@kamamorikumi.jp

※「当日連絡先」は、悪天候などで急遽中止が決定した際などの連絡先となりますので、代表者と連絡のとれるお電話番号やメールアドレスをご記入ください

※職場等で一括して申し込まれる場合は、同行人数のみの記載で結構です

代表者名

所属

当日連絡先

同行人数

同行者氏名

〃

〃

〃

〃